

1. 設立趣旨

低環境負荷の材料及び自然に還る材料で作製した「環境調和型MEMS (EfriM : Environment friendly MEMS)」を新たに開発することにより、これまで、屋内設置や機器内部への搭載が主であったMEMSデバイスを、環境に放置されても回収不要とすることで、これまで普及が遅れていた屋外でのIoTを進展させ、Society5.0の実現を加速させることができる。本WGでは昨年度一般財団法人機械システム振興協会の委託事業として実施した「環境調和型MEMS技術の研究開発に関する戦略策定」の成果を基にEfriMの国家プロジェクト化のための検討を行う。

2. 活動内容

- ① 関連技術の調査
- ② メンバーのニーズ等のディスカッション
- ③ プロジェクト提案(案)の策定
- ④ METI,NEDO,JST,COCN等との情報交換、情報発信

3. WGメンバー

- ① 本技術に興味ある有識者(大学、国研、公的研究機関等)
- ② 本技術に興味のあるデバイス製造、通信等の企業
- ③ 本技術に興味のあるユーザ機関(自治体、インフラ企業等)

4. スケジュール

